科目名	コミュニケーション論 Communication	担当教員 (研究室番号)	小池 敦 (510)	教員への連絡方法 (メールアドレス)	

履修年次	1年次 前期	科目区分	教養・基礎科目	選択区分	必修	単位数 (時間)	2(30)	授業形態	講義	科目等履修生	否
										ｵｰﾌﾟﾝｸﾗｽ	否

科目目的	コミュニケーションは社会生活を営む私たちにとって必要不可欠であり、特に、医療現場における患者ー看護師関係では、コミュニケーションの重要性が指摘できます。この授業では、文化としての意味や自己概念の形成の側面、いくつかの視点からのモデル化、言語的・非言語的コミュニケーションの特徴など、コミュニケーションのさまざまな側面について理解を深めるとともに、コミュニケーションの大切さについて再確認を促します。	
ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ・ﾎﾟﾘｼｰ(DP)	主要なDP	C　多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴に応じて、自らの看護活動の必要性や方法を説明するためのコミュニケーション能力を有している。（技能・表現）
	関連するDP	A　人々の生命・尊厳・権利を尊重し、看護専門職としての倫理観に基づいて行動することができる。（姿勢・態度）
到達目標	１．コミュニケーションに対して多角的な視野が持てるようになる。 ２．自分自身や他者のコミュニケーション方法の特徴を知る。 ３．医療者として期待されるコミュニケーションスキルについて知る。 ４．自らのコミュニケーション能力を高める努力を継続できるようになる。	

成績評価方法 (基準)	期末試験（100%）　ただし、授業への積極的参加の様子などを加味する場合がある。
再試験の有無と基準等	科目合否結果で不合格となった者のうち期末試験での不合格者に対しては再試験を実施する。再試験は期末試験と同様に行う。
教科書	篠崎惠美子／藤井徹也著　看護コミュニケーションー基礎から学ぶスキルとトレーニングー，医学書院
参考書等	必要に応じて適宜紹介する。
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	コミュニケーションは自己を適切に表現する手段であるとともに、他者理解のためにも不可欠な技術と言えます。この授業では、知識を得るばかりでなく、日常生活の中でのコミュニケーションの大切さを意識することなど、実際の体験を通して理解を深めてほしい。なお、適宜ロールプレーを取り入れるので、積極的に参加してほしい。
備考	一部、演習を取り入れ、ロールプレーなどを体験することで、コミュニケーション能力の向上を目指します。

回	学習項目	学習内容	主担当教員	授業方法
１回	出会うことの意味イントロダクション	未知の者同士が出会うということの意味について考察する。加えて、第一印象の重要性や自己紹介の方法について理解を深める。	小池	講義
２回	医療現場におけるコミュニケーション	医療現場におけるコミュニケーションの役割について理解を深める。	小池	講義
３回	集団討議の方法	小集団の中で、自らの意見とともに他者の意見を尊重しながらディスカッションする方法について学ぶ。	小池	講義 演習
４回	コミュニケーションの定義と成立の条件	コミュニケーションの定義、成立条件、コミュニケーション・モデルなどについて学ぶ。	小池	講義
５回	言語的コミュニケーション	言語的コミュニケーションの定義、言語の特性などについて学ぶ。	小池	講義
６回	非言語的コミュニケーション	非言語的コミュニケーションの特徴と機能などについて学ぶ。外見的特徴、身体接触などがコミュニケーションに果たす役割について理解を深める。	小池	講義
７回	コミュニケーションと態度変容	態度の変容過程などについて理解を深めるとともに、態度の変容を促すための説得的コミュニケーションの技法などについて学ぶ。	小池	講義
８回	聞くことと聴くこと	カウンセリングの技法について紹介しながら、医療者に求められる聴き方について学ぶ。	小池	講義 演習
９回	コミュニケーションの技法	クッション言葉、敬語など、患者ー看護師間のコミュニケーションで活用されるコミュニケーションの技法について学ぶ。	小池	講義 演習
10回	看護とコミュニケーション①	自らのコミュニケーションの特徴について知るとともに、医療者の言葉の意味について理解を深める。	小池	講義 演習
11回	看護の面接過程	看護で実践されている面接の過程について学ぶ。	小池	講義 演習
12回	看護面接のトレーニング	看護の面接過程への理解を踏まえて、ロールプレーを交え、患者ー看護師コミュニケーション場面について体験的に学ぶ。	小池	講義
13回	医療チームにおけるコミュニケーション	看護師間をはじめ、多職種間でのコミュニケーションの重要性について理解する。	小池	講義
14回	患者家族とのコミュニケーション	医療現場における家族の役割・影響について学ぶ。また、家族とのコミュニケーションの重要性について理解する。	小池	講義

回	学習項目	学習内容	主担当 教　員	授業 方法
15回	看護とコミュニケーション②	患者－看護師間の会話の特徴を学ぶとともに、看護職者として期待されるコミュニケーション能力について理解を深める。	小池	講義

学　習　課　題
第3回課題（事後）：集団討議のポイントについてまとめておく。 第4回課題（事前）：コミュニケーションの定義について調べておく。 第6回課題（事前）：非言語的コミュニケーションについて事前に自己学習する。 第8回課題（事後）：日常生活場面で受容的態度を試み、その結果をまとめておく。 第11回課題（事前）：教科書からロールプレイの役割に応じた内容を確認する。

実務経験を活かした教育の取組